



ねっどわーく



H24. 04. 18

No.5

■5W1Hの原理

毎回、エラソーなことを書いてすみません。自分のことは棚にあげて、立場上、書いています(笑)



子どもたちに、話し合い活動をさせるときに、留意しておきたい5W1H。ともすると、話し合い活動が、How (どうするの?) で行き詰まったり、やけに白熱してしまったりすることがあります。そのときに、特に留意しておきたいのは、Why (なぜ?何のために?) なのではないでしょうか? 「そもそも、なぜ?何のために話し合いをしているの?」を問うことは、かなり有効な切り札 (というか当たり前のことなんですけど) となるでしょう。

実はこれって、大人 (職員会議とか) にも当てはまりますよね、と書いていて思ったところでした。

「Why?」を常に持つことは、今、教育界で流行のキーワード (クリティカル・シンキング) にもつながるかなあ。。。。

批判的思考 (ひはんてきしこう、英 Critical thinking) は物事や情報を批判的に解釈する思考パターンのこと。単にクリティカル・シンキングと呼ばれることも多い。対象物を見聞きしたままに受け取るのではなく、客観的なおかつ分析的に理解するものである。

「批判」という言葉は反対する、受け入れない、などのイメージから「否定」という言葉と同義で用いられるケースが少なからず存在するがここでいう批判とは情報を分析、吟味して取り入れることを指しており客観的の把握をベースとした正確な理解が必要とされる。「否定」という言葉はその情報自体を拒絶するという意味合いが強くまた主観的要素を含んでおり「批判」という言葉の意味とは隔たりがある。



お忙しい中、すみません。そろそろ宿題 (授業研・授業者) を委員会の方へ提出したいと考えております。あとで、お伺いします。嫌わないでください<m(_)_m>